

令和2年度 男女共同参画意識に関するアンケート結果

1. 目的

第3次石狩市男女共同参画計画の進捗状況および男女共同参画に関する市民意識を把握し、本市の男女共同参画推進事業に活用するため実施

2. 対象者の抽出方法

市内に居住する20歳以上の男女1,000人

- 1 地域別割合：旧石狩市900人、厚田区50人、浜益区50人
- 2 年代別割合：20代、30代、40代、50代、60代、70代以降を概ね均等
- 3 男女別割合：各世代を概ね均等

3. 期間及び方法

期間：令和2年11月24日（火）～12月8日（火）

方法：対象者にアンケート書類一式を郵送、返信用封筒により回収 ※Web回答も受付

4. 回収状況

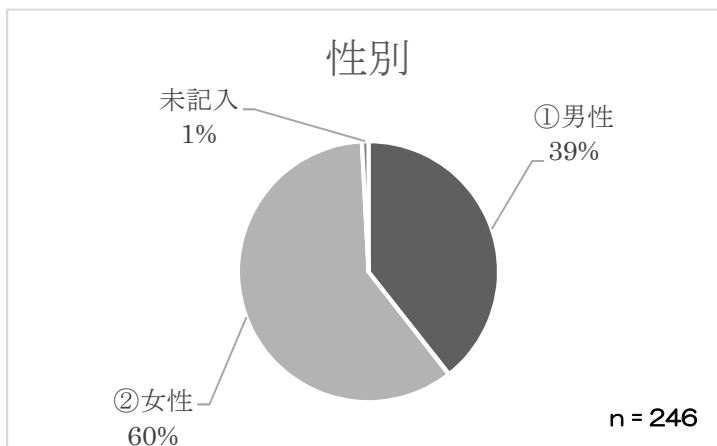
回収件数は246件で回収率は24.6%（H28：18.0%、H29：22.8%、H30：24.3%、R1：22.5%）

1 性別

男性は19.4%、女性は29.4%の回収率となっています。

項目	性別			合計
	① 男性	② 女性	③ 未記入	
配布数(件)	500	500	—	1,000
回収数(件)	97	147	2	246
回収率(%)	19.4	29.4	—	24.6

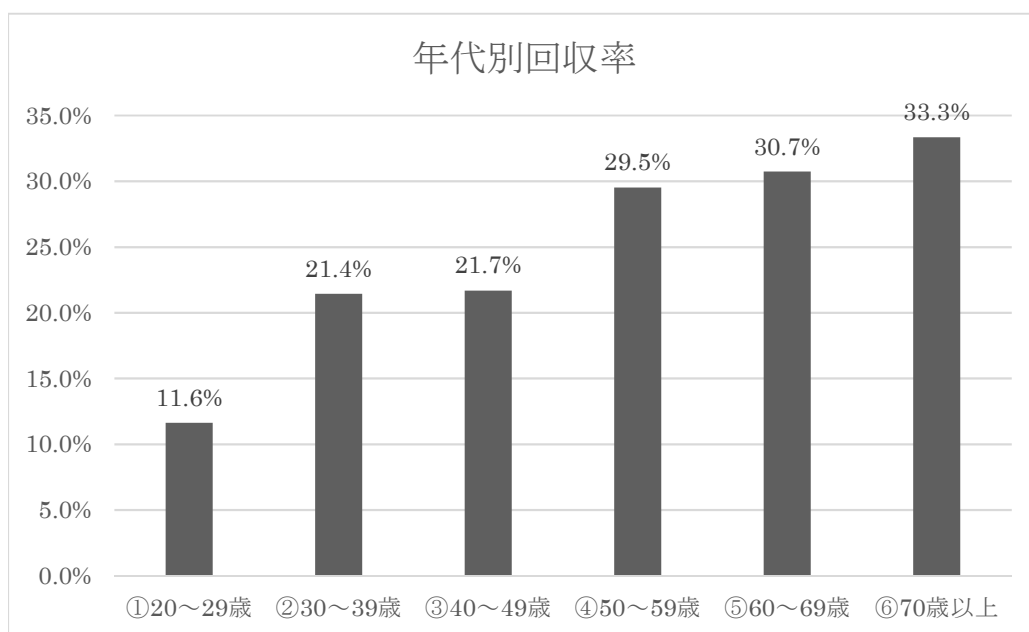
※性的マイノリティ（LGBT）の方に配慮し、性別選択は必須項目としていません



2 年齢

④50～59歳、⑤60～69歳、⑥70歳以上が30%前後と高齢の方からの回収率が高い一方で、①20～29歳が11.6%と若年層の回収率が低くなっています。

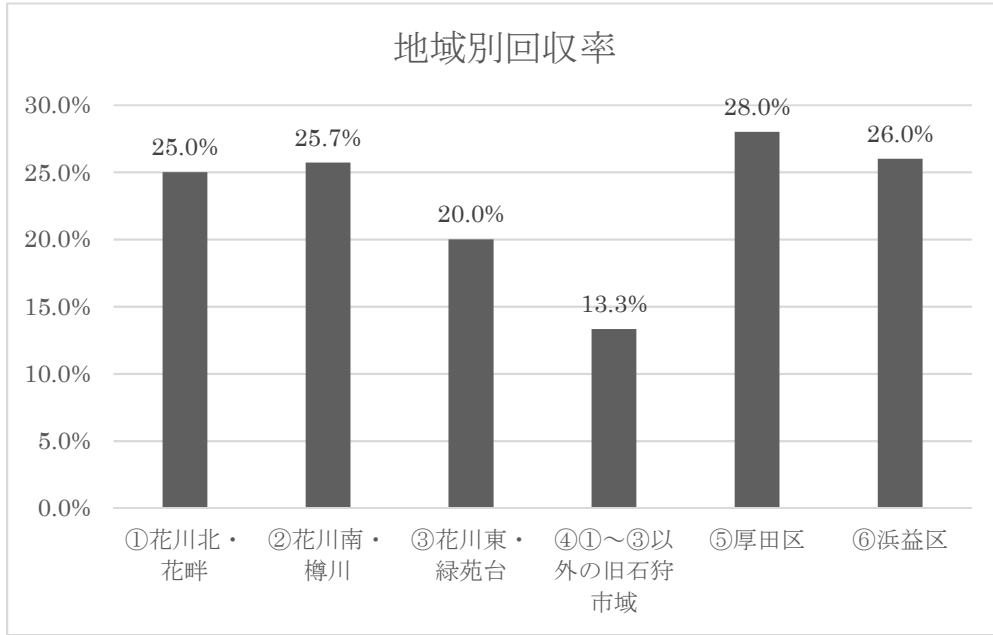
項目 \ 年齢		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
		20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	未記入	
配布数(件)		172	168	166	166	166	162	—	1,000
回収数(件)	男性	5	9	15	20	20	28	0	97
	女性	15	27	21	29	31	24	0	147
	未記入	0	0	0	0	0	2	0	2
	合計	20	36	36	49	51	54	0	246
回収率(%)		11.6	21.4	21.7	29.5	30.7	33.3	—	24.6



3 お住まい

④の①～③以外の旧石狩市域（八幡、親船、生振、緑ヶ原など）が13.3%と低いほかは、20%以上の回収率となっています。

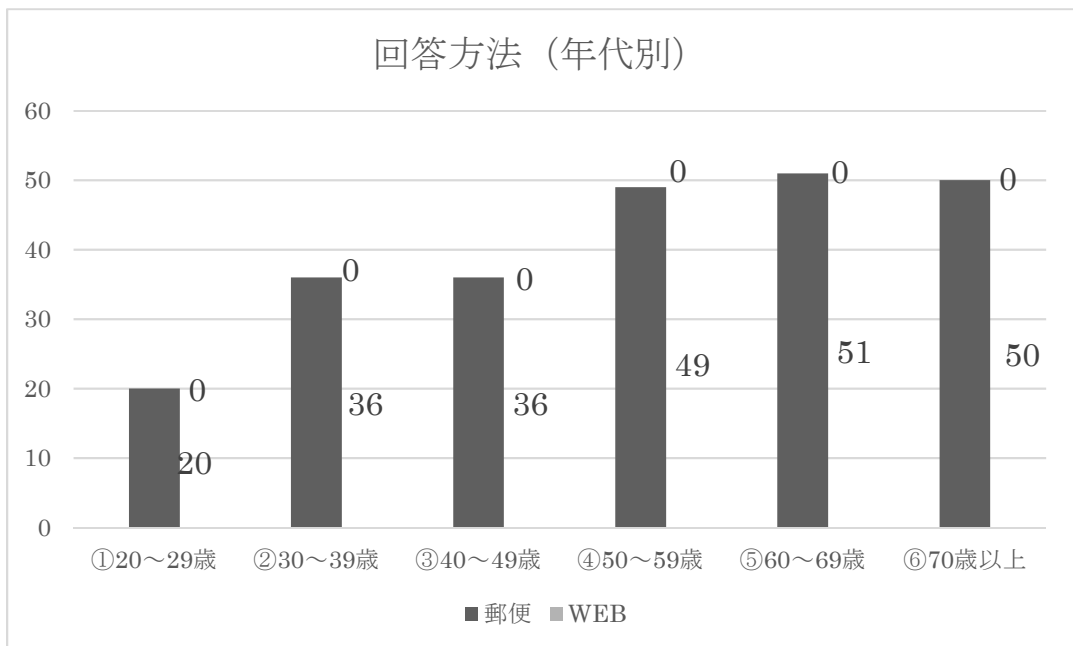
項目 \ 地域		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
		花川北・花畔	花川南・樽川	花川東・緑苑台	①～③以外の旧石狩市域	厚田区	浜益区	未記入	
配布数(件)		280	490	70	60	50	50	—	1,000
回収数(件)		70	126	14	8	14	13	1	246
回収率(%)		25.0	25.7	20.0	13.3	28.0	26.0	—	24.6



4 回答方法

郵便で回答した人は246人、Webで回答した人は0人となっています。

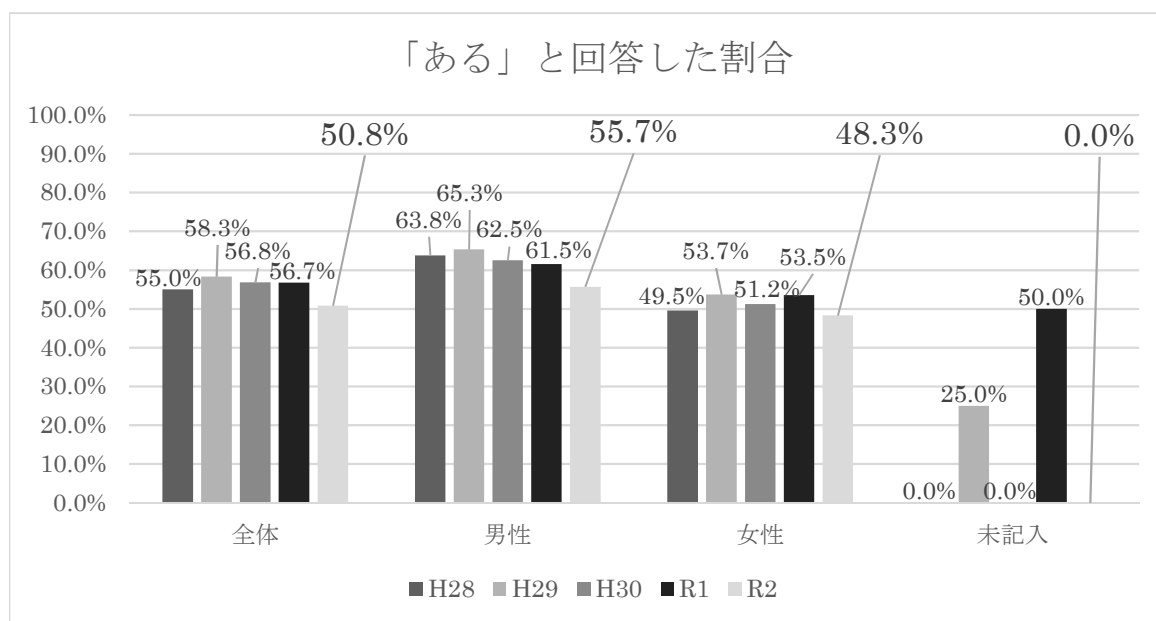
項目 \ 年齢	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	合計
	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	未記入	
郵便	20	36	36	49	51	54	0	246
Web	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	20	36	36	49	51	54	0	246



5. 分析結果

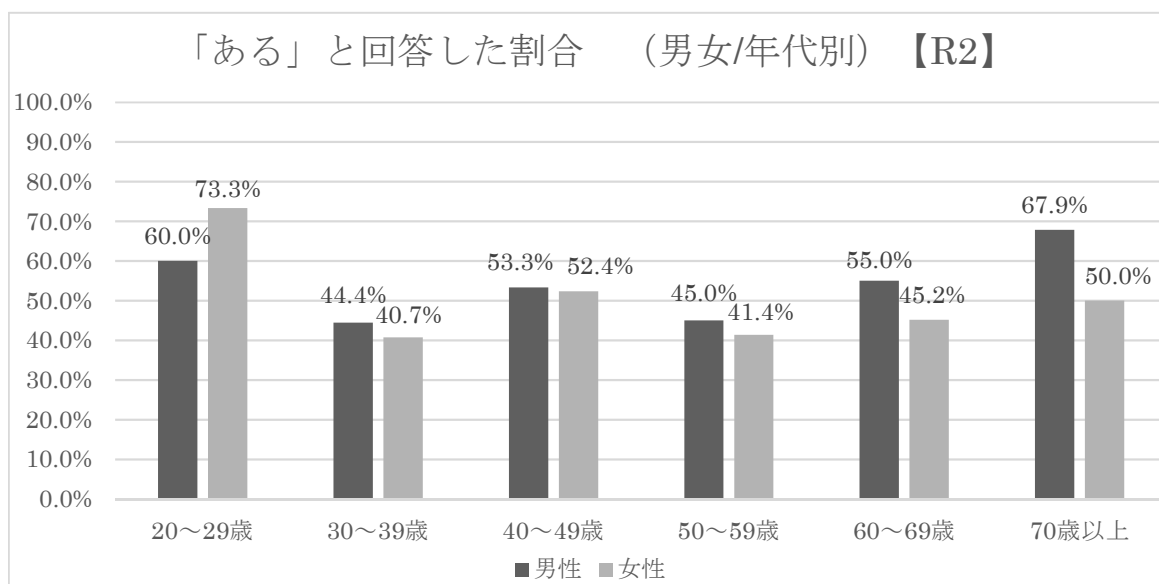
問1：あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を見たり聞いたりしたことはありますか？

① ある ② ない



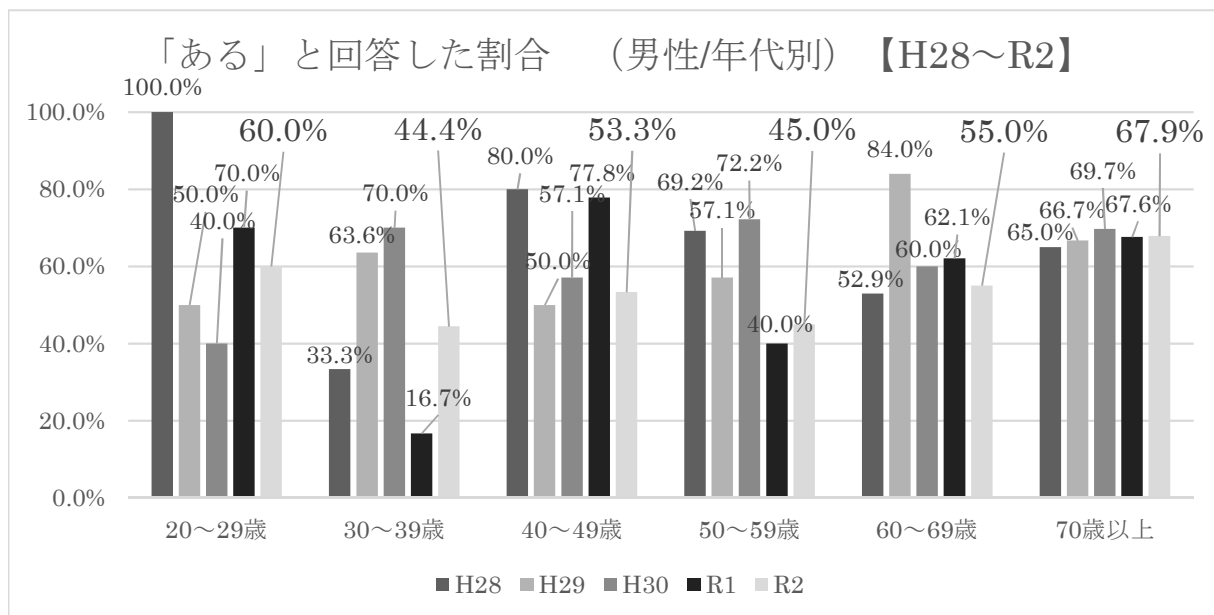
- ・約半数の人が見たり聞いたりしたことが「ある」と回答しています。
また、男性の認識している割合は、女性の認識している割合よりも高いことが見受けられます。

○「ある」と回答した割合（男女/年代別）【R2】



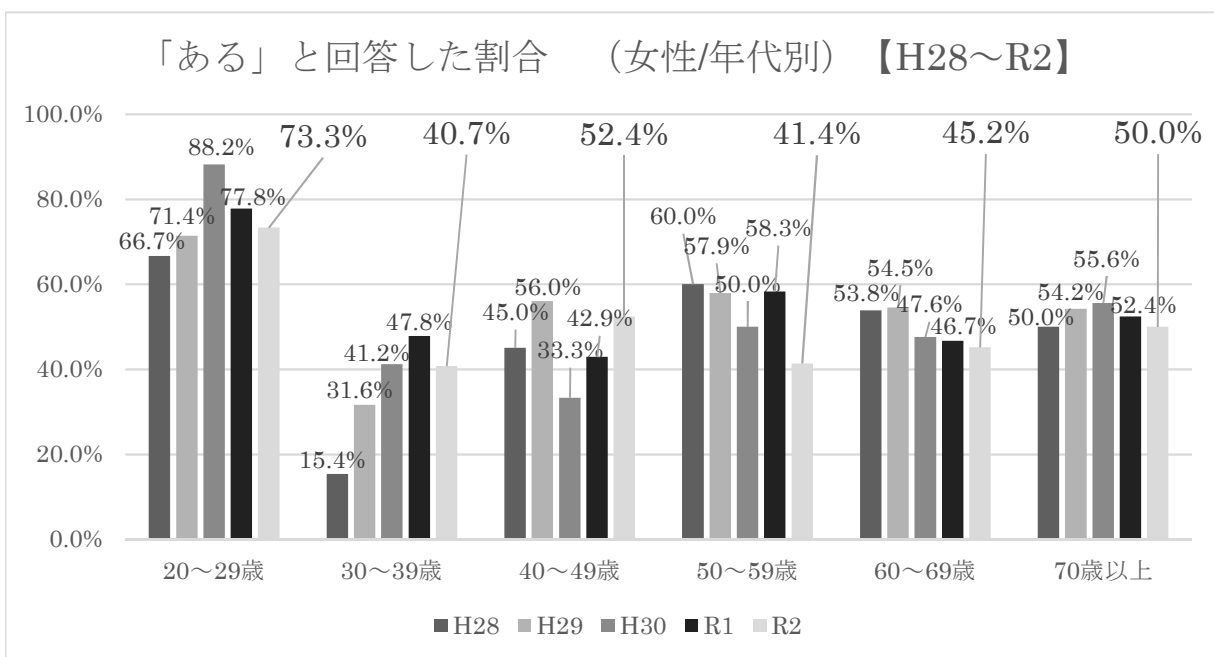
- ・男性は20～29歳と70歳以上が60%以上、女性は20～29歳が73.3%と高い一方、男性女性どちらも30～39歳、50～59歳が40%台と低くなっています。

○「ある」と回答した割合（男性/年代別）【H28～R2】



・調査年度によってばらつきがありますが概ね50%以上の方が認識しています。特に70歳以上は認識している割合が毎年度65%以上と高くなっています。

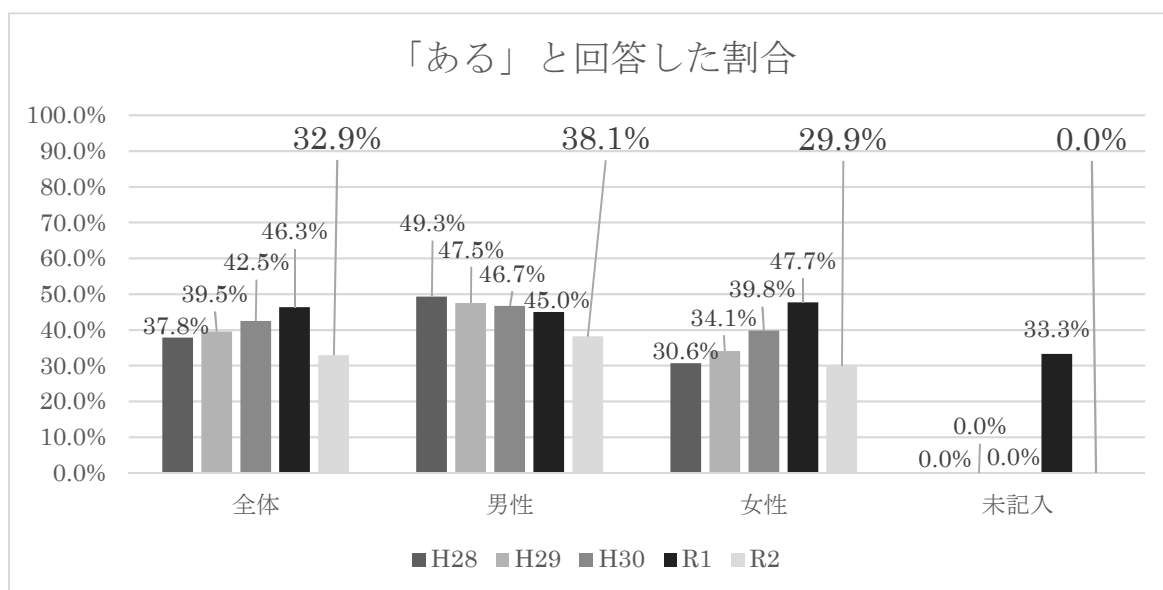
○「ある」と回答した割合（女性/年代別）【H28～R2】



・20～29歳は認識している割合が毎年度約70%以上と高い一方で、それ以外の年代では概ね50%台以下と低くなっています。

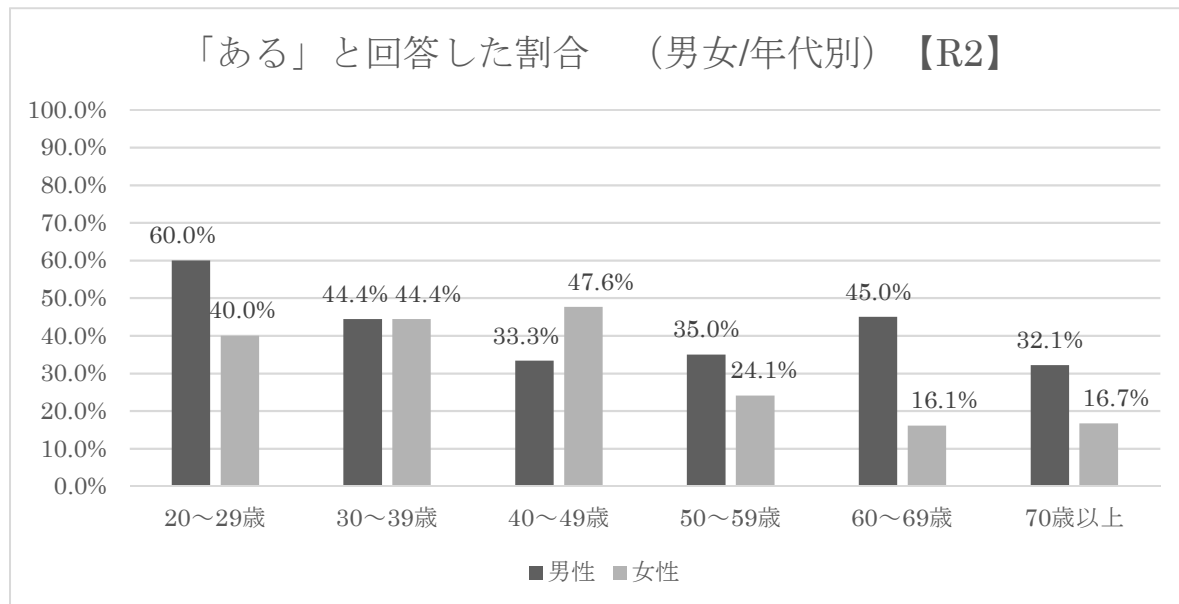
問2：あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉を見たり聞いたりしたことはありますか？

- ① ある ② ない



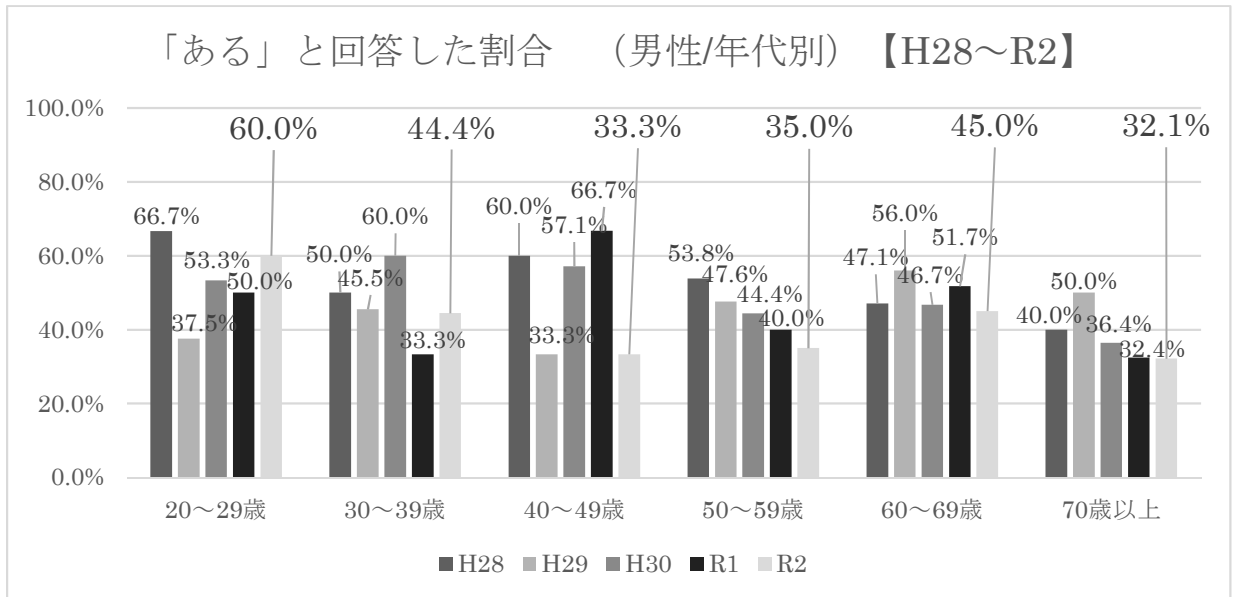
- ・約3割の人が見たり聞いたりしたことが「ある」と回答しています。
- また、男性の認識している割合は、女性の認識している割合よりも高いことが見受けられます。

○ 「ある」と回答した割合（男女/年代別）【R2】



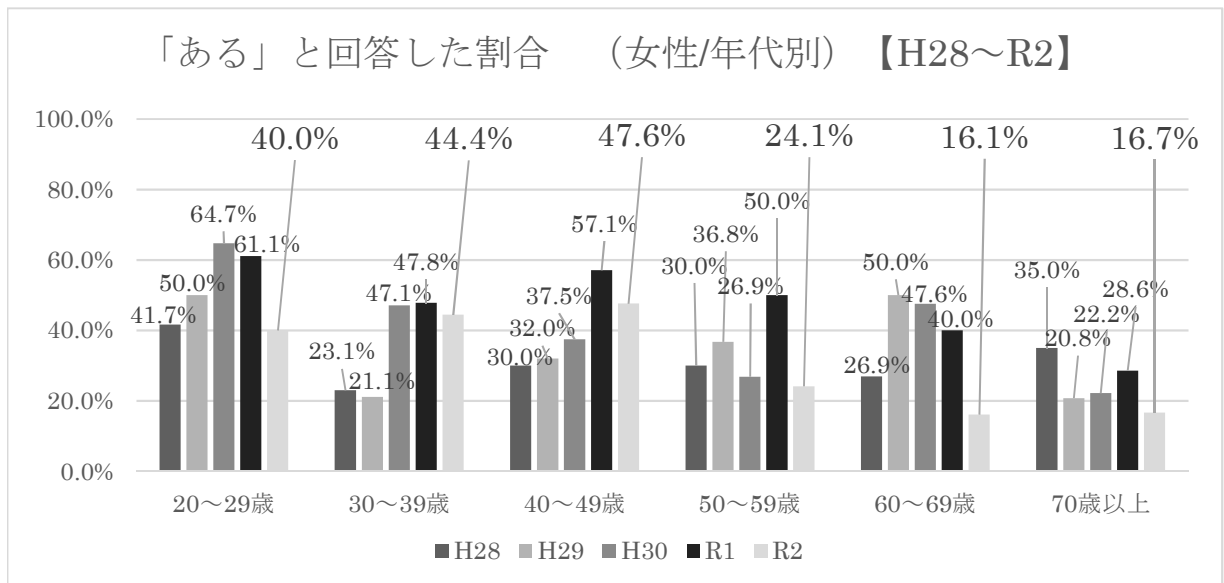
- ・男性は20～29歳の認識している割合が60%と高い一方、それ以降の年代は40%台以下と低くなっています。女性は全ての年代で40%台以下と低くなっており、特に50～59歳は20%台、60～69歳、70歳以上は10%台となっています。男性女性どちらも、年代が上がるにつれ認識している割合が低くなる傾向となっています。

○「ある」と回答した割合（男性/年代別）【H28～R2】



・20～29歳、30～39歳、40～49歳は調査年度によってばらつきがありますが、平均すると年代が上がるにつれ認識している割合が低くなる傾向となっています。

○「ある」と回答した割合（女性/年代別）【H28～R2】



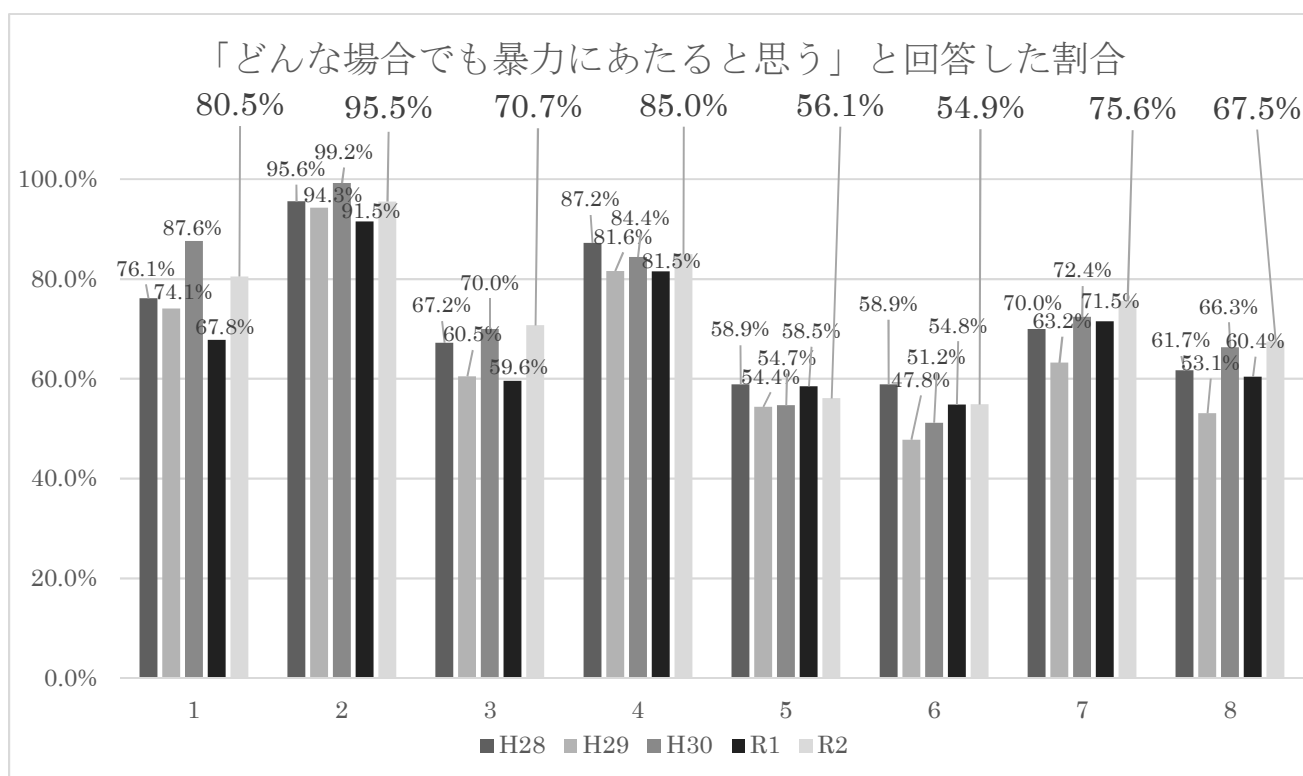
・全体的に認識している割合が低く、年代が上がるにつれ認識している割合が低くなる傾向となっています。

問3：あなたは、次のようなことが夫婦（恋人）間で行われた場合、それを暴力だと思いますか？
 （回答欄に、あなたの考えに近い番号をいずれか1つ選んで○をつけてください）

※「夫婦」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦も含まれます

- ① どんな場合でも暴力にあたると思う
- ② 暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う
- ③ 暴力にあたるとは思わない

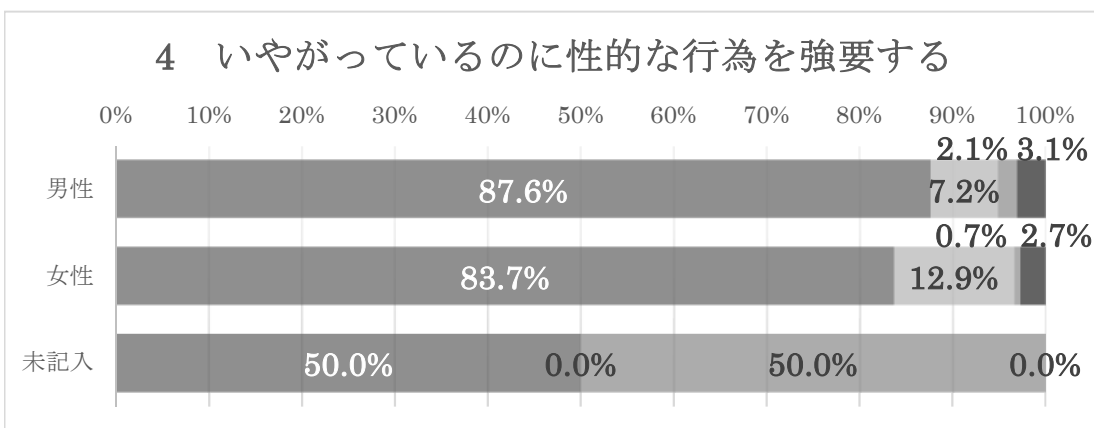
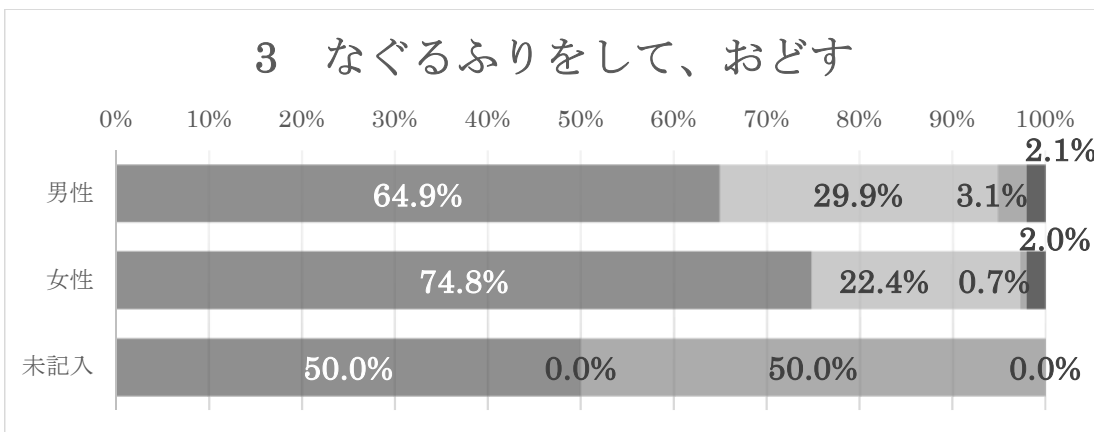
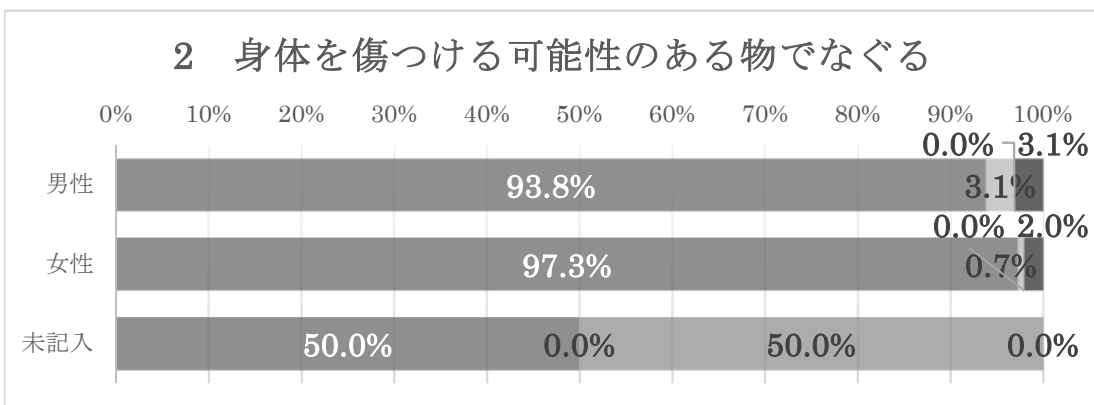
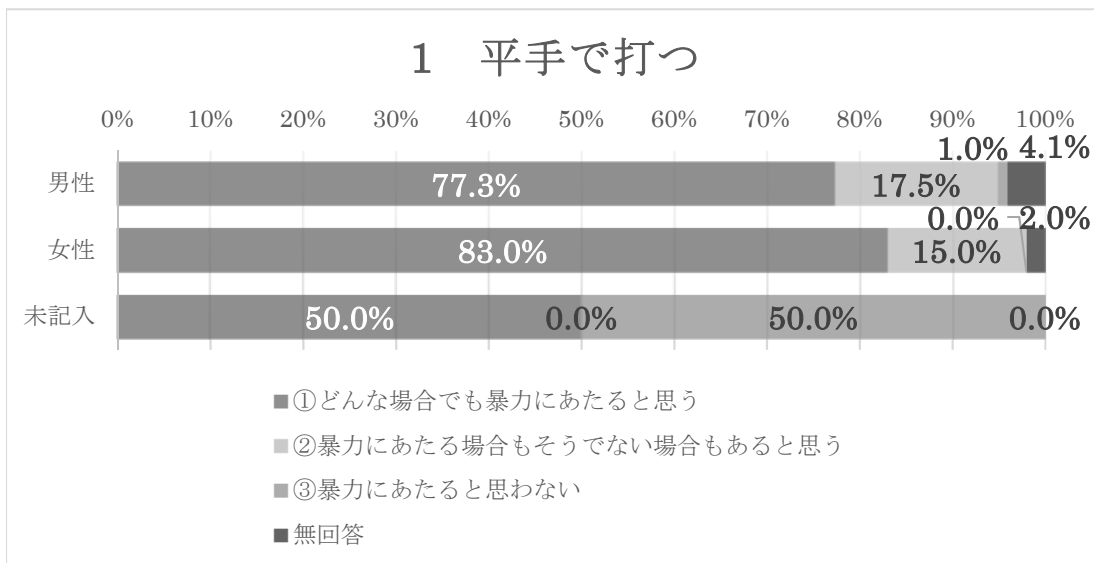
項 目		回 答		
1	平手で打つ	①	②	③
2	身体を傷つける可能性のある物でなぐる	①	②	③
3	なぐるふりをして、おどす	①	②	③
4	いやがっているのに性的な行為を強要する	①	②	③
5	何を言っても長期間無視し続ける	①	②	③
6	交友関係や電話を細かく監視する	①	②	③
7	「役立たず」など、人格を否定するような暴言を吐く	①	②	③
8	大声でどなる	①	②	③



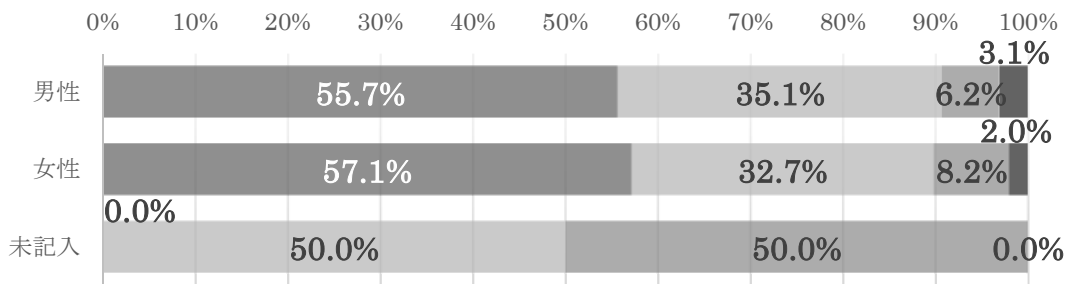
・すべての項目で半数以上の方が「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答しています。どの年度も1、2の身体的な暴力や4の性的な暴力に比べ、3、5～8の精神的な暴力について認識している割合が低く、特に「5 何を言っても長期間無視し続ける」、「6 交友関係や電話を細かく監視する」が50%台となっています。

また、「どんな場合でも暴力にあたると思う」と回答した人の割合は、ほぼすべての項目で上昇傾向にあります。

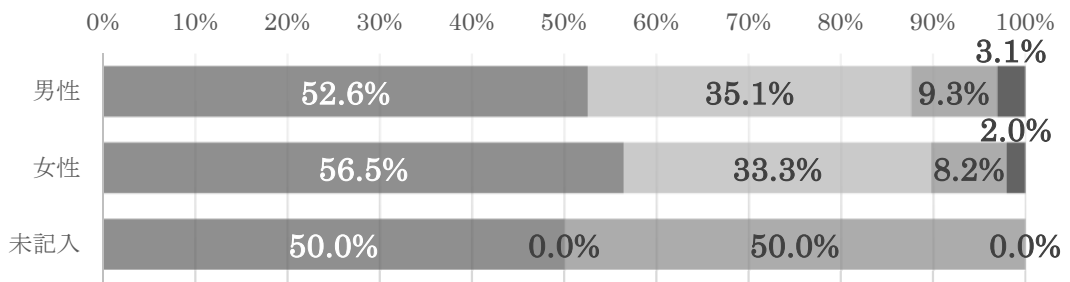
項目別



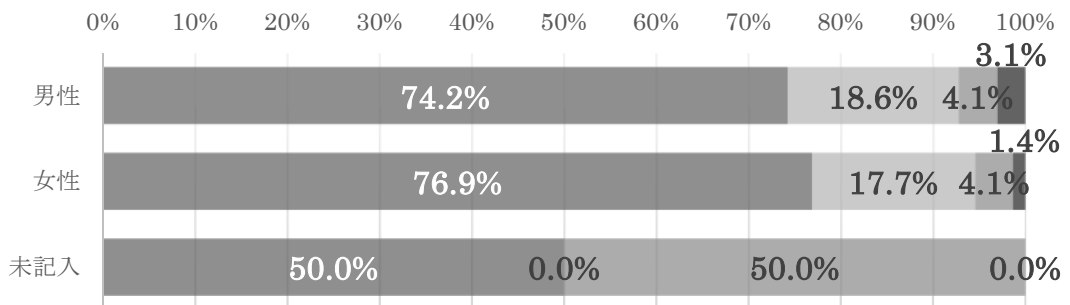
5 何を言っても長期間無視し続ける



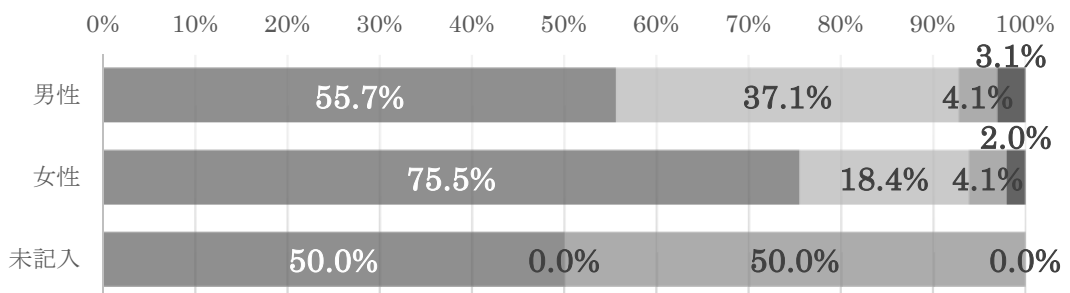
6 交友関係や電話を細かく監視する



7 「役立たず」など、人格を否定するような暴言を吐く



8 大声でどなる



・「どんな場合でも暴力にあたると思う」という男女間の認識の差については、「3 なくるふりをして、おどす」で約 10%、「8 大声でどなる」で約 20%女性の方が認識が高くなっています。

また、「5 何を言っても長期間無視し続ける」や「6 交友関係や電話を細かく監視する」という行為は「暴力にあたる場合もそうでない場合もあると思う」と認識している割合が男女ともに 30%以上と高くなっています。

問 2-2 : あなたがワーク・ライフ・バランスを実現するために、心掛けていることがありましたら、ご自由にお書きください。

20 代女性 (3 件)

- 時間外労働をしないよう心掛け、趣味と仕事それぞれの好きな面を見失わないようにすること。
- 仕事する時と休憩する時で、分けて心を落ち着かせている。自分のしたい仕事などを若いうちにするなど (若いうちにできること)。
- 基本的には自分自身も残業したくないのでその努力をする。次の日に回せるものは回す。それでもダメなときは残業をせざるを得ないと思うが、上司が許してくれない。

20 代男性 (3 件)

- 休暇制度を利用し、趣味の時間を作っている。
- 学生のためワークの経験がない。
- 休暇の取得。

30 代女性 (4 件)

- どちらも完璧を求めない。
- 生活リズムをあまり変えないように日々規則正しい生活をするよう、心掛けています。
- 嫌な思いをしても定時で帰る。
- 給料面を考えるとフルタイムで働きたいですが、子どもが 3 人いるので子どもとの時間を考え 17 時頃までの勤務にしています。

30 代男性 (2 件)

- PDCA サイクルですべての物事を行い、時間を作っていくこと。P (プラン・行動) D (ドゥ・実行) C (チェック・確認) A (アクション・改善実行)
- 休日は家族と過ごす時間や趣味に費やす時間としている。

40 代女性 (6 件)

- 乳児・幼児期が終わり、仕事復帰し収入や時間の余裕が増えたことで、女性の気持ちにも余裕ができ、家族間の空気も良くなり夫も家庭に目を向けるようになり、意識が変わり始めてきたと感じています。経済的な豊かさと、女性が社会復帰することによる自己肯定感を持つことにより (持てないときもあるが)、家族の気持ちの余裕につながっている気がします。
- 子育て中ですので、働き方をパートにしていました (2 年前まで)。子どもを優先したため今は専業主婦です。転勤族の妻ですので、その土地土地でバランスを考えています。
- 主婦なので、自分のペースで動いているので、バランスは取れています。
- その方の立場や状況を踏まえて、生活や活動することができるよう自分に協力、応援、歩み寄りするように心掛けております。
- 仕事が忙しすぎて心のバランスを崩しかけた時、思い切って転職。年収は下がったけど楽しく仕事ができ、人にも優しくなれた。仕事、家庭、趣味それぞれの時間を大切にできている。
- 子のことや仕事、職業上での自己啓発など、職場と相談し時間を作っている。子どもの行事には積極的に参加できるようにしている。

40 代男性 (4 件)

- 誰もが自由、平等の精神で自助、共助、公助の流れを社会生活に活かし、生活できればと思

います。

- まずは家庭内での協力。そして職場では多様な人々が共に働くことを受け入れる姿勢を持つようにしている。
 - 言葉では聞いたことがあるが、どうすればいいかはわからない。
 - 我慢をせず、自分がどういうスタイルで生活したいのかを家族に話すようにする。
-

50代女性（6件）

- 休日は確実に休む。
- 仕事と私生活をきっちり分ける。
- 母子家庭なのでそんなことを考えている余裕は皆無です。できること、やれることをするのみです。
- あまり仕事を入れすぎず、心と体のメンテナンスに心掛け、仕事のやりがいと趣味や地域貢献の充実も行っていきたいと思います。
- 仕事を効率的に行うようにする。残業はできるだけしない。興味がある記事や自分の好きなTVやネットを見る。
- ユーチューブやネットサーフィンを寝る前にしない（寝る時間が遅くなる、眠りの質が悪くなり、睡眠負債が溜まるため）。やらなければならないことはメモしておき、終了したら斜線で消す。

50代男性（4件）

- 言葉は知っていても実現は困難そうに思える。
 - 残業時間をできるだけ少なくするよう工夫して仕事をする。
 - 心掛けるも何も、私の所属する介護業界では、性別も年齢も関係なく、人手不足によりワーク・ライフ・バランスにならざるを得ません。
 - いつでもどこでも誰でも働くことができる環境整備。
-

60代女性（3件）

- 健康。身体と心。
- お互いできないことは助け合う。
- 意識することではないと思っています。相手を人として尊重し接していくことではないかと考えます。

60代男性（5件）

- 現在は、朝3時30分頃起床して家事がワーク。ライフは特に思い当たらないが自由に暮らすこと。
 - 常に社会の一員としての考えがありますが、社会環境がそうではないと思っている。例えば労働環境として、働く場が年齢制限で非常に狭く選択肢がなく、生活に影響が出ている。100歳時代と言われる最近、生きるのではなく働きたい。
 - 過去にしていた仕事（会社）は全くバランスの取れていない会社でした。現在、仕事と自分の時間がきっちり分けられる職業に就いており、前の企業がこんなところだったらどれだけ幸せだったろうと思います。今、メリハリのつく生活、自分のやりたいことに時間を取れること（心掛けています）。
 - 差別しない。
 - 余暇の充実を念頭に仕事のスケジュールを調整し、効率的な年次休暇の取得に努めている。
-

70 代以上女性（2 件）

- 老人の仲間に入った今は、考えはあまりありません。
- 孫たち（男の子）には家庭内のことなどを協力し合って生活するようによく話しています。

70 代以上男性（8 件）

- 女性が働ける環境、子育てなどに男性（高齢）が手助けできる環境を行政サイドで考え、取り組んでほしいと思う。
 - 今は無職。寝たきり。
 - 現在はリタイアした身だが、在職中は趣味にも結構力を入れていたので、適度にバランスが取れていたのではないかと思っている。
 - 今までは家事は女性と決め全く台所に立つことはありませんでしたが、今は自らも家事に従事しております。
 - 今年 6 月から（現在 75 歳）無職となり自由な行動ができるようになりましたが、コロナで皆で運動・飲み会ができず、バランスが多少偏っている。最大のバランスは仕事をいつまでも続ける。「安定した生活からすべてが始まるから」
 - 実現するための努力はしています。その場合の相手の反応を冷静に受け止めることを心掛けています。
 - 家事の分担を心掛けている。その他のことでは男女の適性を考え分担する。お互いの社会的活動などの自由を尊重する。
 - 男女は平等である。
-

問 4：あなたが日ごろ感じている男女平等や男女共同参画についてのお考えやご意見がありましたらご自由にお書きください。

20代女性（7件）

- 子育てなどでは、まだまだやはり女性がメインに行う場面が多々あるのはなかなか変化しないのかと感じています（保育園送迎・病気対応など）。
- 扱いを平等にするというより、権利や機会が平等になればいいと思っています。また、平等や共同を押し付けるより、妥協点を探れるような関係性を築ける世の中であればいいと思います。
- 男女共に平等に扱われると良いと思っています。力の強さや、能力などあると思いますが、男女の性別の人がいて成り立っているのも、働く時も、その差別があまり無く、気持ち良く過ごせると良いと思います。
- 「(女性なんだから) 家事をなさい」と年配の方に言われることがあったが納得できなかった。しかし、過ごしてきた時代が違えば価値観も違うので、男女平等などは時間のかかる問題だと思う。
- 夫婦の信頼関係によって暴力の意味は変わってくると思います。相手をリスペクトする気持ちを忘れずに、男女平等が成り立ってくれたら良いと思います。
- 自分が下手に出ない。誰にでも平等に接する。
- 男性は女性に奢ることは違うと思うので平等に勘定するようにしています。他は特にしてないです。

20代男性（2件）

- 少子高齢化の影響により、働き手が不足してきているため、女性や高齢者が働きやすい社会環境を作ることはいくらも必要になってくることだと思います。
- 男女平等というと女性が損をしている面ばかり取り上げられがちだが、表に出ないだけで男性が被っているものも多くあると感じている。

30代女性（6件）

- 結局、家事・育児の負担は女性がかかるに大きい。
- 身近な人たちを見ていると、今の時代でもまだ、女性の家事の負担が重すぎる感じがします。共働きで、女性は仕事から帰ってきて料理や洗濯、掃除などやることが多く、男性は帰ってきたあとはすべて受け身の状態で過ごしているのが、どうなのかなと思うことがあります。休みの日でも休めないのが、見ていて心苦しいです。男女が協力して家事などを楽しくできる環境ができるといいと思いました。
- 自分が子どもの時代と比べると随分と男女平等が意識された社会に変わってきているとは感じますが、まだまだ途上だと思う場面も多いです。言葉面や表面上は男女平等を謳うものの、内情はまだまだ「これは女の仕事、女がするもの、●●ができないなんて女じゃない」などの意識は根深いと感じています。子育て中ゆえ、子どもに関することでそう感じる人が多いですが、子育ては母親のみが担うものでもないですし、責任は父親も母親も同じのはずです。「男はこうあらねばならぬ」にしばられている男性も同じく苦悩している方も多いと思います。

- 女性の方が有利になりすぎてデカイ顔をする女性が増えたように感じます。ある程度性別で分かれてしまって当然です。
- 同性の結婚ができないこと。夫婦別姓ができないこと。
- まだまだ女性の働き方が不平等だと思う。子を持つと仕事の制限がどうしても出てくる。時間があって、収入を増やしたくても扶養内だと制限されてしまい、稼げない。子育てにお金がかかるのに預ける制度も足りず、十分ではない。

30代男性（2件）

- 専用という言葉に疑問しか覚えない。「平等」という言葉の意味を根底から理解したうえで、この計画を是非良いものにしていきたいと考える。
- 女性に対する意識が変わって、男性側も意見を聞いたり配慮する姿勢が少しずつ増えていると思うので、我慢せずにしっかりと意見を言って欲しいと思う。陰で言っているだけでは、周りが反応できないと思う。

40代女性（9件）

- 男女の固定的な役割分担意識というのは根強くあると思います。どうすれば変えていけるのかというのはなかなか難しい問題ですね。少しずつでも前進していると信じたいです。
- 昭和の人間なので、ある程度の不平等がある方がしっくりくる部分もあります。
- 仕事をしていると男尊女卑の考えの人がまだ多いように思う。世代で差別はできないが、威圧的な態度を取る人は昔の考えに固執している。中高年～シニア世代に多く感じる。
- 女性は出産育児で何年も休職期間があったりするので、復帰してもいくらキャリアや知識があっても平等に働くというのは難しいと6年ぶりに社会復帰して痛感しています。
- 男女平等とは非常に難しいことだと感じます。日本文化にも関することであり、「男女平等」という言葉自体にどうなんだろうと疑問に思います。男女共同参画とは初めて聞いたのでよくわかりません。
- 私の年代はまだ男性が外で働き、女性が家庭に入るという考えがあります。しかし、自分の子どもが大人になる時には男女共同参画という考え方が主流になっていると思いますので、子どもが受け入れやすく当たり前の考えができるように子育てしたいと思います。
- 家事は妻の役目というのは我が家には無いので、得意な方がやるようになっています（私は水仕事が苦手なのでほとんど夫がやってくれます）。私が働きたいと思ったら夫は協力してくれると思います。どちらが上とかないのでずっと平等です。このような家庭が当たり前の世の中になってきていると思います（昔よりは）。DVについて昔は少しありましたが、暴力で支配しても余計に信頼関係が築けないことを説明したら全くなくなりました。今は話せばすぐわかり合えるようになりました。
- 男女平等と言われ続けておりますが、まだ男尊女卑という傾向が残っているのが実情だと思います。暴力はもってのほかですが、言葉の暴力や問3の5のように態度（無視）によっても十分に人を傷つけることも多いと思いますので、引き続き働きかけをよろしく願いいたします。
- 仕事柄男か女かを感じることは少ない。それぞれの性別が得意不得意や向き不向きで働いている。家庭ではまだまだ男女差がありそう。育休とる男性も少ないし周りの目も厳しい。厳

しい目を向けるのは男性だけじゃなく女性も。

40代男性（5件）

- 基本的に男女は平等ではなく、お互いにそう思うことからそれが平等だとみなされる。
- 3～4年前から工事現場でも女性の活躍を実感しています。10年以上前から比べるとだいぶ平等になってきていると思います。
- 男性とか女性とかでなく、職場では個人の能力が遺憾なく発揮できる職場を望んでおります。
- 私の職場は6：4で女性：男性の割合である。管理職も女性が多い。男女共同参画は現時点では実現できているように思う。しかし、時として「男手が少ない」とか、重い物を移動する際には「男性」と言われたり、これはハラスメントだと思う。男女平等と職場で言う際には、男女の差によって仕事を分けるべきではないと思う。たとえ、男女に身体的な差があるとしても。そして、男女平等・共同参画という言葉自体が新たな差別を生むこともあると思う。
- 具体例を客観的に示してほしい。

50代女性（11件）

- 私たち世代は男女平等という考えの人はあまり見られませんが、若い世代ではそういう考えを持っている人が多いと感じます。これからの世代の人たちが男女平等、男女共同参画について普通に考えられる世代だと思っています。
- 日本の政治家はじいさんばかりでこれが先進国かと情けなく恥ずかしい。せめて地方からでも若者や優秀な女子を登用してほしい。
- 同じ仕事をして、男性と同じ収入はもらえません。その現実を知っているので、ぎりぎりまで離婚できずにいたことが精神的に子どもを傷つけてしまい、申し訳なく思っている。そんな社会を改善してほしい。
- 男女平等とはいえ重い物は女性は持てない。
- 今は女性の社会活動参画の機会が増えてきて良いことと思いますが、職業によっては、まだまだ女性が少ないところがあります。
- 家事の仕事の大変さをもっと重視してもらえる社会であってほしいです。
- 「父親から言葉の暴力」がある。幼い頃から。
- 男女共同参画社会の説明が同封されていて読んだけど、いまいち“男女共同参画”という言葉にピンときません。アンケートには協力しますが、気持ちとしてティッシュ1個くらい同封してもいいのでは。
- どんな事情、場合があろうがあくまでも女性は男性より力、社会的立場、権力は弱い。中には女の武器を使う女性も稀にいますが、やはり弱い立場はまだ社会的にも証明されていることが多い。特にこのコロナで自粛している際は、夫婦、恋人同士でもいざこざがあるでしょう。だからこそ他人事と思わず守るべきではないでしょうか。ついでに一言。このコロナが蔓延しているのにマスクや生ごみを収集している方々に心より感謝してあげてください。
- 娘が都内の大学へ今春進学しました。その際、北海寮を知りました。北海道出身者専用の学生寮です。しかし男子に限るんですね。今や学力は女子の方が勝っている所もある時代なのにとても残念な気持ちになりました。

- 女性は生理、出産など心と身体に波があるため男性と同じレベルで働くのは無理だと思う。性差、体格差があるのだから男女平等はありえないと思っています。

50代男性（4件）

- 基本的に女性の方が精神的に強いと思っているし尊敬もしている。ただし、人それぞれだし、あまり平等平等と強調することは良くないと思う。男女問わず尊敬していればよろしいのでは。
- 従属的ではない女性の社会参加、それを尊重する男性の意識、お互いに精神的自立をし、責任を持つ。
- お互いに思いやりを大切にすることが大事だと思います。
- 私の所属する介護業界では、人手不足が甚だしく、皮肉にも男性が非常に平等な状況です。

60代女性（15件）

- 全部を男女平等にするには無理があると思う。体質、性質が違うから賃金格差の話では肉体的な仕事だけが無理ですが。女性専用車両とかレディーファーストがなくなりますね。
- 若い頃は生活、経済、男女平等と思い行動、発言していましたが、共に定年を過ぎ老いてくると夫婦助け合いの精神に変化しました。
- 講座等啓発運動と共に具体的な保育所増加、企業の育休等義務化促進の実現化が必要と思う。
- 心臓で一級障害者です。リウマチ、心筋梗塞です。調子の悪い時にはお手伝いしてほしいのですが、してくれることはありません。手を挙げることはないのですが、協力してほしいと思っています。これからこれが続くと思うと悲しいですね。
- 日本はジェンダー平等後進国。世界で153カ国中121位。女性労働者は労働者のうち半分くらい。ところが女性労働者の半数以上がパート・アルバイト・派遣・契約など非正規労働者。低賃金で不安定な働き方を強いられている。非正規労働者の「使い捨て」を許さない規制を強め、正社員化を進める政治を期待します。
- 健康。きちんと生活できる年金または金。心の余裕。
- 男女平等は理想。昔より男の人も家事・育児など協力的になっていると思います。
- 私が結婚した40年前なら男子が外で働いて女子が家で子育ての時代で暴力も我慢しましたが、今の時代女子も社会で給料をいただき自立していますので暴力は（身体・言葉）だめです。
- 男女各々特性があります。「すべての人を同じく」という言葉を広い想いで受け止めるべきだと思います。「思いやりを持って人に接していく」ことが大切だと思います。
- 男女を問わず、一人の人間として接するように心掛けています。現在は市外へ転出しましたが、DV（性的暴力以外）をしていた女性を知っています。（現在は相手男性と仲良く生活していますよ）私が彼を助け出しました。
- お互いの性格にもよるとは思いますが、できること、できないことをわかり合えればよいと思います。
- 男女共同参画という言葉について今回のアンケートで理解できました。特にDVは身近で見たり聞いたりしたことはないのですが、被害を受けている人がいれば悩まずに声を上げてほしいと思います。

- 大変良いことだと思います。昔の男は本当に「男は仕事、女は家事・育児」だったと思います。
- 現内閣の女性大臣は 2 名、しかも留任。このことから遅々として進まずという感じです。
- お互いの思いやり。その時々相手の立場に立って考える。

60 代男性 (6 件)

- 男と女を「区別」することと「差別」することを混同して欲しくない。「差別」はいけないが「区別」はある程度仕方ないと思う。
- 世の中で「男女平等」と言われだして久しい気がするが、そもそも「男女・・・」と言っていることが区別→差別の意識になるのではないか。
- 男女平等でお互いに尊重し合いながら、お互いの能力を生かして助け合いながら暮らすのが良いと思います。
- 同一労働同一賃金に賛同します。男女関係ないですし男だから女だからもなくなるといいます (男でも女でも使ってはいけないと思います)。
- 最近、男女の本質である部分が逆転していると思っている。特に悪とは思っていないが、男としての本質が弱くなっているのが、非常に気になっている。女性の行動が強くなっているのは好ましい。男女の本質とは男は行動力、女は内助の功と思っています。
- 男・女それぞれの立場から意見の言い合える社会。特に政治や企業での女性の地位をもっと高めなければならないと思う。

70 代以上女性 (6 件)

- もっと女性が自覚し行動するべきだ。石狩市長とかに挑戦してほしい。
- 今現在 80 歳代の未亡人ですが、男は強いものと思い暮らしてきました。強いの中身は「いばる」「暴力を振るう」ではなく「生活力」「生命力」であってほしいです。
- お互い話をし、理解し合えるよう、幾度となく話をする事だと思います。
- 夫を見送った今、日々心と身が健康でいなければと考えているだけでしょうか。
- 11 戸の町内会です。夫や妻のない 1 人世帯が 4 戸あります。班長、会計などの役割は当番制です。最年長が 85 歳 83 歳 80 歳と夫婦での人たちに役割を持たせます。目も薄く耳も遠く不便なことが沢山ありますが、女性には絶対役を当てることはありません。班長はともかくとして会計くらいは受けてほしいと思いますが、すべて男の人たちで回しています。
- 賃金が平等。

70 代以上男性 (10 件)

- 今頻繁に出てくるジェンダー (性差) について、より具体的に行政が啓発活動を推進して頂きたいと思う。
- 世の中進化してきており、昔の意識では健全な社会生活はできなくなってきており、我々高齢者自分たちの意識改革をしなければと思っております。
- 若者 (中学・高校生) からの教育取組強化、低所得・片親・老人家庭など政策の検討、計画の具体的効果測定の公表など出遅れにならない方法の確立要。
- 良いことだと思いますが、受ける側の生い立ちや環境で個人差があるのに何事も相手を変え

ることを悪とするのはどうかと思います。

- 夏は家庭菜園でできた野菜を近所におすそ分け、冬は除雪機で近所の除雪や宅配便の駐車場所の確保などしてお互い協力し合える環境づくりを行っている。
 - 私もついカッとなって大声で怒鳴ることがある。気を付けなければと思います。
 - 日常の家庭生活、社会生活の中に深く浸透している。代々引き継がれてきた「見えない男尊女卑」を改めるには、小学生から「人権思想」をしっかりと教育する必要があると思う。子育ては「公助」を基本とし、職場ではしっかりと男女平等を義務付ける必要があると思う。
 - 各家庭・個人により千差万別の関係があり、非常に難しい。なお、約 20 年前に家を出て、今は一人で生活しています。楽しい老後を過ごしております。
 - 男女平等とは同じことをすることではない。あらゆる選択の権利が同等ということである。
 - 問 3 に該当することが周辺で発生していないので、気にしたことはありません。
-